無償用

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部中西部アフリカ第２課

１．案件名（国名）

国名：ガボン

案件名：リーブルビル零細漁業支援センター建設計画

(Projet d’Aménagement d’un Centre d’Appui à la Pêche Artisanale de Libreville)

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における水産セクターの開発実績（現状）と課題

ガボンの水産業はGDPの約1.5%を占め、また水産物は国民が摂取する動物性たんぱく質の40%を占める等、同国経済・社会において重要な役割を果たしている。本計画サイトの首都リーブルビルの漁獲物の水揚は、近郊に分散する6ヶ所の水揚場において行われており、水産物流通が非効率である。また既存水揚場には専用の水揚施設や製氷施設がないため非効率かつ不衛生な状況下に置かれており、首都への安定的・衛生的な水産物供給体制の構築が必要となっている。

(2) 当該国における水産セクターの開発政策と本事業の位置づけ

ガボン政府は長期目標として経済の石油依存からの脱却のために、他分野の産業振興による経済の多角化を掲げている。水産分野は農業、観光業と並んで重要視されており、1998年には零細漁業及び養殖業振興のための組織創設、水産基盤施設整備等を骨子とする「漁業養殖開発計画」が策定されている。JICA支援により2007年から実施されている開発調査「零細漁業・内水面養殖総合開発計画（マスタープラン）」では漁民センター整備について優先的に取り組むべき課題として掲げられている。

(3) 水産セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

ガボンの水産セクターに対しては、我が国は過去3次にわたる無償資金協力により、ポール・ジョンティ、ランバレネの2ヵ所に水揚施設、市場、製氷機等を備えた漁民センターを建設してきている。

(4) 他の援助機関の対応

ガボンの水産セクターに対しては、過去EU、アフリカ開発銀行、世界銀行等が零細漁業、養殖等の分野の支援を実施してきている。

３．事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

首都リーブルビルにおいて零細漁業支援センターの建設を行うことにより、零細漁業の総合的開発促進を図る。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

エスチュエール州リーブルビル市ララ地区

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

零細漁業支援センター施設整備（水揚用浮桟橋、漁船係留用船揚場、護岸、管理

事務所、漁具等修理棟、水産加工場、製氷機、修理用機材、等）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

実施設計、施工監理等。ソフトコンポーネントなし。

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 12.28 億円（概算協力額（日本側）: 11.62 億円、ガボン側 : 0.66 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2009 年 6 月～2011 年 1 月を予定（計 19 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）及び実施能力・維持管理能力

1)監督官庁 : 森林経済・水利・漁業養殖省

2)実施機関 : 森林経済・水利・漁業養殖省　漁業養殖局（Direction Générale de la Pêche et de l' Aquaculture : DGPA）

3)運営・維持管理機関 : DGPA と漁民組合の共同管理

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 : C

② 影響と緩和・軽減策 : 特になし

2) 貧困削減促進 : 特になし

3) ジェンダー : 特になし

(8) 他ドナー等との連携・役割分担 : 特になし

(9) その他特記事項 : 特になし

４．外部条件・リスクコントロール

（１）事業実施のための前提条件

ガボン政府側による工事用仮設ヤードの確保、建設残土の投機場所確保。

（２）プロジェクト全体計画達成のための外部条件

想定を超える（異常波浪）災害がないこと。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

特になし。

６．評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

ガボン政府は長期目標として経済の石油依存からの脱却のために、他分野の産業振興による経済の多角化を掲げており、JICA 支援により 2007 年から実施されている開発調査「零細漁業・内水面養殖総合開発計画（マスタープラン）」では漁民セン

ター整備について優先的に取り組むべき課題として掲げられている。本事業はガボンにおける主要な水産物の消費地であるリーブルビル周辺において、非効率かつ不衛生な状況におかれている水産物の供給体制の改善を図るものである。また本事業で整備される漁民センターは、リーブルビル周辺で期待される水揚量等を考慮して施設の規模等を定めている。上記より、ガボン政府の進める水産セクターの開発政策、及びリーブルビル周辺地域における漁業が抱える課題に照らして、本事業の妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値（2008 年）	目標値（2014 年） [事業完成 3 年後]
計画水揚げ漁船数	0	60 隻/日
製氷機による氷の供給	0	9 トン/日

2) 定性的効果

①漁業活動の効率化を通じたリーブルビル周辺の零細漁業の活性化。

②新センター内に設けられる会議室兼研修室の活用による零細漁民への啓蒙活動により、ガボンの水産資源の持続的活用の促進。

③5 箇所の水揚げ場から、新センターへ流通拠点を一括化することによる、鮮魚の流通体制の改善。

④漁獲物取扱いの衛生状態の改善による、首都リーブルビルへの衛生的な鮮魚の供給。

７．今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2)1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価　　事業完成 3 年後

以　上